

回覧

清川歴史公園かわら版

7月1日から9日まで『清川関所の七夕まつり』開催

あまるめ少年少女合唱団による「七夕コンサート」等

館内に設置した七夕飾り



清川関所では、今年も七月一日から九日まで「清川関所の七夕まつり」を開催しました。
【七夕飾り付け】
認定こども園からふる(幼児舎)の子どもたちが作った七夕飾りを玄関周辺や館内等に設置しました。

お召し上がりいただいた方からは、「目で楽しみ味わうことができました。」との声がかれました。

好評だった七夕御膳セット



【御殿茶屋・七夕御膳セット】
七月一日と二日、八日には、御食事処御殿茶屋のスタッフが考案した「七夕御膳セット」を提供しました。

発行所

○清川歴史公園
管理運営委員会

□庄内町
立川総合支所
立川地域振興係
TEL:0234-56-2217

○庄内町
「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会

□庄内町教育委員会
社会教育課
TEL:0234-43-0183

【OSOTO de Concert in 清川関所】

七月八日には、あまるめ少年少女合唱団による出張コンサート「OSOTO de Concert in 清川関所」を開催しました。

清川地区をはじめ、庄内町や周辺の市町村から約四十名のお客様にお越しいただきました。
懐かしい童謡など歌に合わせて一緒にリズムを取っておられる方や口ずさんでいる方の姿も見られました。

コンサート終了後には、管理運営委員会を代表して齋藤副委員長より、清川関所で素敵な歌声を聞かせてくれた合唱団の皆さんへお礼の挨拶と粗品の贈呈が行われました。

歌声披露する合唱団の皆さん



清川関所では、地域の皆さんに日頃の練習の成果を披露できる場も提供していきたいと考えております。興味のある方は是非ご相談下さい。お待ちしております。



8月18・19日 御諸皇子神社例大祭 ～4年ぶりの山車行列～



神事の後は、獅子神楽や神輿など行列が清川地域を巡りました。

練習の成果を披露した巫女舞



八月十八日(金)午前八時三十分から御諸皇子神社の例大祭が執り行われました。

御諸皇子神社や風流 義経伝説、風流 高砂、清河八郎とお蓮の宿命の出会いをテーマに各山車実行委員会で創作しました四台の山車が午後一時半に清河神社前から清川駅へ向けて出発しました。
途中大雨で山車行列の進行は中断しましたが、少しすると天候が回復して再開することができました。また清川駅からは、各山車実行委員会の集落に分かれてゆきました。

清川をめぐる神輿行列



清河神社前に集合した山車



昨年は雨天中止となった為、山車行列は四年ぶりの開催となりました。沿道には待ちわびた地域の方々大勢出てこれれ、とても賑わいました。
また翌十九日(土)には清川獅子神楽保存会の皆さんが町内を回って、獅子神楽を披露されました。

【第三回 参加者募集】

九月二十七日(水)開催

テーマ

『出羽三山と松尾芭蕉』

講師 いでは文化記念館

学芸員 富樫 あずさ氏

第三回歴史講座は九月二十七日(水)に開催します。

いでは文化記念館の学芸員・

富樫あずさ氏に「出羽三山と

松尾芭蕉く羽黒俳人と「おく

のほそ道」と題して講演

していただきます。

内容は次の通りです。

・参加費 2,000円

・昼食付

・受付 お昼十二時より

講座 食事後、午後一時から
(午後二時半終了予定)
・定員20名・お土産付
参加ご希望の方は、清川関所
【電話】0234・25・5
885へお電話にてご予約
下さい。定員になり次第、受
付終了します。(定休日:毎週
月曜日)

9月15日(金) 津軽三味線ライブ in 清川関所 開催!



清川関所では、九月十五日(金) 十八時より「津軽三味線ライブ in 清川関所」を開催します。出演は宮城県白石市在住の津軽三味線演奏家・小野越郎さんです。

【当日のスケジュール】
十七時三十分〜受付開始
十八時〜ライブ スタート
十九時三十分 終了予定

○チケット代金(自由席・ワンドリンク付き) 1,000円 ※清川関所で販売【問合せ】清川関所
【電話】0234・25・5885 (定休日・毎週月曜日) まで

【小野越郎プロフィール】
秋田県仙北市生まれ。十八歳より津軽三味線を山田千里師に師事し、本場青森県は弘前にて修行を積む。劇団わらび座の三味線奏者として数々の作品で国内・海外公演に参加。その後独立し宮城県を拠点に、伝統曲・自作曲を織り交ぜたソロ演奏活動を開始。世界的な民族音楽フェスティバル「WOMAD」をはじめ、これまでに世界20ヶ国以上の音楽祭などに招聘出演し好評を得る。

令和5年9月15日(金)
清川歴史公園 清川関所
山形県東田川郡庄内町清川花崎1-1
開場 17:30 / 開演 18:00 自由席
入場券: 1,000円

小野越郎
ホームページ

入場券は清川関所受付又はTELにて
TEL:0234-25-5885
受付時間 10:00-17:00
月曜日休館

主催:清川歴史公園管理運営委員会
協力:角蔵珈琲 庄内町地域おこし協力隊 玉越

歴史の里のおもてなし ガイドの会より

「ようこそ、秋の清川へ」

長梅雨が明けた途端、今度は一粒の雨も降らない猛暑が続いています。

清川を訪れる観光客数も随分増えてきました。余目中学校や庄内町と南三陸町との交流事業など児童や生徒のお客様が多くありました。

関所では五月に「源義経ゆかりの品々」の展示があり、関連する御諸皇子神社へのご案内も増えました。

猛暑による水量が心配される世界かんがい施設遺産の北楯大堰は根強い観光人気があるようです。四百年以上前から農業の命といえる水を恵んでくれる大切な大堰です。四季折々に楽しめる大堰をこれからも大いに愛して頂きたいものです。

御殿林散策路のチップ敷も三年続き、涼しい歴史の散策路として好評です。



御殿林散策路

清川住民の皆さんもこれからも暖かい目でお客様をお迎えくださるようお願いいたします。

第二回・関所まつり 十月二十九日開催

七月二十七日に開かれた清川歴史公園管理運営委員会において、第二回関所まつりを十月二十九日(日)に開催することが決定しました。詳細については、改めてご案内いたします。



「節分の豆まきだ」と、酒宴の場でお金をばらまいた。すると酌をしていた女たちが一斉にお金に飛びつき、あられもなくうばい合いが始まった。が、一人だけ、悲しげな眼をして端然と座っている女がいた。それがお蓮だったのである。

：（中略）話したいことは山ほどあり、また、一刻も早く一緒にになりたいという気持ちも強いのだが、へたに事を急いで人の悪口や嘲笑にあうのもいやなので、なかなかうまくいかないものです。以前から言っているように・・・



八郎の妻・お蓮は天保十一年（一八三九年）東田川郡熊出村の医師・菅原正庵の四女として生まれた。しかし、家が貧しく十歳の時に養女に出され、十七歳で遊郭に売られた。その年に客として上がった八郎と出会ったのである。

この時八郎は江戸の同志・安積五郎とともに湯田川温泉に遊び、安積が酔った勢いで、

「清河八郎」を主人公とする大河ドラマの実現を目指し、平成三〇年五月に「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会を設立しました。現在、清河八郎を多くの人に知ってもらいたい！という願いのもと、周知活動を行っています。

維新の魁
清河八郎を大河ドラマに！

よくよく考え、覚悟を決めてください。ともあれ近いうちにまた会えるので、あなたも予定を合わせ、手紙をください。例のお茶、大変うれしかったですよ。

：「清河八郎グラフィティ」より



遊女・酌婦といえれば最も身分の低い女とされていた。しかし八郎はお蓮の「心」に惹かれたのである。お蓮の本名は高代というが、「蓮の花は泥水に染まらずに香り高く咲いて清らかだ」というので、まさに高代にふさわしいと八郎が命名したのである。

あなたさえ心変わりしなければ、絶対に見捨てたりはしません。しかしあなたも知っているように、世間どおりに所帯を持つとは違い、私は自由勝手のうえ、大望を持つ身のため、楽しいこともあろうが、つらいことも多いでしょう。とても普通の結婚のつもりなら、辛抱は難しいに違いありません。それは農家か商人に嫁いだ方がはるかに平和に暮らせるでしょう。

「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会 Instagram はじめました★

@KIY08KYOGIKAI